

平成23年度教育委員会定例会会議録

【日時】 平成24年3月16日（金）
【開会】 14時00分
【閉会】 17時45分
【場所】 明治安田生命ビル2階 第1会議室

【出席委員】

委員長 佐々木 武志	委員 小泉 秀夫
委員 中條 克之	委員 中本 賢
委員 中村 立子	教育長 金井 則夫

【出席職員】

総務部長 平野
総務部担当部長 鈴木
職員部長 高梨
学校教育部長 渡邊
生涯学習部長 野本
庶務課長 小椋
企画課長 広瀬
庶務課担当課長 五十嵐

カリキュラムセンター室長 稲毛
総務部担当課長 阿部
青少年科学館長 山田
文化財課長 渡辺
情報・視聴覚センター室長 阿部
生涯学習推進課長 池谷

担当係長 末木
書記 荻野

【署名人】 委員 中村 立子 委員 中本 賢

1 開会宣言

【佐々木委員長】

ただいまから教育委員会定例会を開会いたします。

2 開催時間

【佐々木委員長】

本日の会期は、14時00分から16時00分までといたします。

3 会議録の承認

【佐々木委員長】

2月定例会の会議録を、事前にお配りし、お目通しいただいていることと思いますが、承認してよろしいでしょうか。修正等がございましたら、後ほど事務局までお申し出ください。

3 傍聴（傍聴者 0名）

【佐々木委員長】

本日は傍聴の申し出がありません。

以後、会議中に傍聴の申し出がございましたら、川崎市教育委員会会議規則第13条により許可することに異議はございませんでしょうか。

【各委員】

<了承>

【佐々木委員長】

それでは、そのように決定いたします。

4 非公開案件

【佐々木委員長】

本日の日程は配布のとおりでございますが、次の案件については、これから申し上げます理由により、非公開の案件かと思っておりますので、お諮りいたします。

報告事項 No. 6 教育委員会の権限に属する事項に係る教育長の専決事項の報告について

は、特定の個人が識別されうる氏名等の内容が含まれており、公開することにより個人のプライバシーを侵害する恐れがあるため、

議案第46号 人事について

は、公開することにより公正かつ円滑な人事の確保に支障を及ぼす恐れがあるため、

これらの案件を非公開とすることによろしいでしょうか。

【各委員】

<了承>

【佐々木委員長】

それでは、そのように決定いたします。

5 署名人

【佐々木委員長】

本日の会議録署名人は、川崎市教育委員会会議規則第15条により、中村委員と中本委員にお願いをいたします。

6 報告事項 I

報告事項 No. 1 叙位・叙勲について

庶務課長が説明した。

【佐々木委員長】

何か質問等がございますか。なければ承認ということでよいでしょうか。

【各委員】

<承認>

報告事項 No. 2 平成23年度川崎市立中学校学習状況調査の結果について

カリキュラムセンター室長が説明した。

【佐々木委員長】

何か質問等がございますか。

【中條委員】

資料2の回答ですが、肯定的な意見が載っているようですが、肯定的でない回答は全体から肯定的な意見を差し引いたものということでしょうか。

【カリキュラムセンター室長】

はい、そうです。

【中條委員】

23の3と23の4で社会科は、好感度と理解度が下がっていますが、有用感や興味は上がっています。この数字はどういう意味があるのでしょうか。

【カリキュラムセンター室長】

分析はしていませんが、好きではないけど役に立つと思っているということだと思います。先生が社会で役に立つことというのを授業の中で紹介していたり、生徒達を感じ取っているのかと思われます。

【金井教育長】

このアンケートは昨年度との比較など全体を把握するにはよいのですが、個々の比較はありますか。外に向けての発表や議会等の質問に対しての答えならばよいですが、個人の到達度を感じられるものがあるといいと思います。

【中村委員】

個人のプロフィールを作っていくことは個人個人の成長を考えるととても重要だと思います。情報として、保護者会や面談で活用できたらとてもよいと思います。

【金井教育長】

教科担任や担任のレベルでは把握しているとは思いますが。

【佐々木委員長】

全体の成果だけでなく、自分がどうかという事がわかると目標が見つかると思います。

【金井教育長】

先生達は個人の回答の記録を持っていますか。

【カリキュラムセンター室長】

2年生しか実施しないので、その分しかありません。そのため、個人の資料も全体の資料も2年生の分しかありません。

【金井教育長】

個人内評価がこれではとれません。中学だけでも、相対評価ではでない個々の成長を見るためにも全学年で実施した方が良いと思います。他の都市では実施しているところもあるようです。

【カリキュラムセンター室長】

中学校長会と相談しながら25年度にむけて予算要求をしていこうと思います。

【中本委員】

この結果を踏まえて子どもたちの励みになるような声かけができると素晴らしいと思います。内容を理解できるように工夫することも大切ですが、励ますというようなことを合わせて行ってほしいと思います。

【小泉委員】

先生方は個々で記録も行っているでしょうし、生徒の課題なども直感で分かっているところもあると思います。

【金井教育長】

授業力の向上にも繋がっていくと思います。

【小泉委員】

有用感の上昇については先生達の努力によるものだと思います。国際的な調査でも、これがどういうところに使われるのかというような視点を先生の指導に持って欲しいと思います。

【カリキュラムセンター室長】

有用感については理科が一番低いですが、動機付けを大切に、どういうところにこの

科学が使われているのかなどから実験や観察を行い、終わったあとまた、生活にもどると
いうような授業をしてくださいとお話し、前の年から比べると若干有用感も上がったので
はないかと感じています。

【小泉委員】

新しい教科書でもそういう項目が増えていきますので活用してほしいと思います。

【中本委員】

総合的な学習の時間と合わせて、社会科や理科を学習していくことはしていますか。

【カリキュラムセンター室長】

学校によって、何を総合的な学習にしているかという事がありますが、環境学習などの
学びをしているところは理科との関わりがとても大きいなどという事があります。

【中本委員】

折角の体験の活動をしているのに学習に活かされていない学校があるのはもったいない
なと思います。

【カリキュラムセンター指導主事】

この4月に届く先生方用の事例集には環境教育と合わせて学習ができるといった事例が
載っています。

【中村委員】

理科は分断されているのでどの分野での意識調査か分かるといいと思います。

【中條委員】

キャリア教育をしてみてもどうでしょうか。例えば危険物の取扱や電気工事士の資格を
取るのに必要な知識だというような話をすると、子どもたちの夢に結びつくのではないか
と思います。

【小泉委員】

新しい教科書にはそういうものがたくさんありました。まさに電気工事士も載っていた
ように思います。学校図書の教科書には特にそういった記述が多かったです。採択の際に
も言いましたが、採択されなかったほかの教科書にいいところがたくさんあるので是非、
見て欲しいと思います。

【中條委員】

何の役に立つのか分からないままより、自分の夢に直結させて教える方が、理解度や好感度が飛躍的に上がってくると思います。子どもたちに夢を与えると言う点でも夢を現実に近づくという点でも、よいと思います。

【佐々木委員長】

前回までの結果と比較して先生達の努力が見えます。更に頑張ってもらいたいと思います。

【中村委員】

キャリア教育も重要だと思いますが、中学は将来何をしたいかを考える入口なので有用性よりも好感度を大切にしたいです。人生を充実させることができるよう、好きだという気持ちをサポートして欲しいです。

【小泉委員】

23の8に読み物や図鑑などとの関連についてありますが、この数値は低いものではないと思います。先生がニュースを語るとか発表させるということをして欲しいと思います。

【中村委員】

全国レベルで考えたら高い方ではないかと思いますが。家庭環境も大きく影響すると思いますので、保護者の方にも興味を持ってもらえるといいと思います。

【佐々木委員長】

いろいろな意見が出ましたので参考にしてください。他になければ承認ということでしょうか。

【各委員】

<承認>

報告事項 No. 3 川崎市立橋高等学校定時制課程の改編について

総務部担当課長が説明した。

【佐々木委員長】

何か質問等はございますか。

【金井教育長】

定時制は全11クラスありますが、今後、変更の予定はありますか。

【総務部担当課長】

今後制度などに大きな変化がない限りは11クラスです。

【小泉委員】

私学で定時制はありますか。

【総務部担当課長】

ありません。

【中條委員】

高校の定時制はセーフティーネットという意味合いが強いと思います。全日制の高校を退学した子どもたちでもう一度勉強したいと定時制の高校に入ったという話を聞きました。そういった受け皿があることは大事なことだと思います。

【小泉委員】

そういった受け皿は必要だと思います。

【金井教育長】

先生達は習熟度別に指導を行うなど、苦勞されています。市としてもっとバックアップできるといいと思います。

【佐々木委員長】

橘高校定時制の数学のレポートを見ましたが、習熟度別の教材を用意するなど素晴らしい活動だと思います。

【中村委員】

総合教育センターのeラーニングについてももっとうまく活用できるように考えてほしいです。個人で勉強するだけでなく、先生と繋がれるような仕組みを考えてもらいたいです。

【小泉委員】

eラーニングを1人で続けていくのは、相当なモチベーションが必要です。

【金井教育長】

0時限とはなんですか。

【総務部担当課長】

本来は4年間で卒業に必要な単位を取得するように時間割が組まれているのですが、3年間で修業を可能にするための一つの方法として、1時限よりも前に設定された授業です。

【金井教育長】

それは先生がついて指導するのですか。

【総務部担当課長】

はい、そうです。

【佐々木委員長】

学校外における学修の単位認定はどのようなことをしていますか。

【総務部担当課長】

学校外における学修の単位認定の例としては、高等学校卒業程度認定試験で合格した科目を単位認定したり、技能審査として、例えば実用英語検定の合格により単位を認定するものがあります。

【中村委員】

この認定は、他の学校に通っていた時の単位も含まれますか。

【総務部担当課長】

1年間たっていれば、単位に加えられます。

【佐々木委員長】

他になれば承認という事でよろしいでしょうか。

【各委員】

<承認>

報告事項 No. 4 川崎市青少年科学館運営基本計画について

青少年科学館長が説明した。

【金井教育長】

今までと違った特色は何ですか。

【青少年科学館長】

植物などの新たな展示が増えました。解説を見るだけでなく生田緑地内のフィールドワークに繋がるような活動をしていけるといいと思います。200人程度収容できる学習室で今までできなかった座学ができます。屋上の屋根が開くアストロテラスがあり、星空の観察会も多くの方にご利用していただけたと思います。また昼間条件がよいと星空が見えるというようなことを紹介したいです。専門性に偏っているという指摘もありましたので初心者方に興味を持っていただけるような事業もしたいと思います。体験するという事を重視していきたいと思います。

【小泉委員】

昼間の星とは、金子みすずの歌のようですね。

【中本委員】

情報の質、発信の形に工夫がほしいです。川崎の博物館としてもっと具体的な、例えば細山郷土資料館で足踏み脱穀機を展示しているように、川崎の凄い技術を紹介して欲しいです。

生涯学習との連携や、地域との連携を図って、市民を育て、学校で活躍して頂けるといいと思います。新しい科学館の目標や、川崎にある理由が欲しいです。

【金井教育長】

生田緑地の中には岡本太郎美術館や、民家園など特色のある施設があります。民家園は私も見学しましたが、その頃の暮らしに思いを馳せることが出来るような工夫がほしいです。いろいろな施設があるので、何かのきっかけになればよいと思います。大平さんの作った世界一のプラネタリウムも生田緑地を子どもたちが巡回する生涯学習のきっかけになると思います。科学館の中身については、4月の内覧会で具体的なご紹介をしていただければと思います。

【小泉委員】

24ページの学習支援ネットワークに例えば出前授業などがありますが、肌で感じる自

分の住んでいる地域について考えられるようなことがあるのはいいと思います。

【佐々木委員長】

科学実験の場などでボランティアの方はどのような活動をしていますか。

【青少年科学館長】

わくわく玉手箱という実験道具などを一つの箱に集めたものを用意しています。それを使い、登録されているボランティアの方に出前事業をしてもらっています。

【中村委員】

25ページの生田緑地内施設の中に公園部分について触れたところがないのが寂しいです。公園部分についてもネットワークに加えてほしいです。

【金井教育長】

課題はこれから出てくるでしょうから柔軟に対応してください。

【中村委員】

危機管理の面ですが、以前、枳形では大きな事故があったと思います。地盤は大丈夫ですか。

【青少年科学館長】

100万年前からの地層があり、地盤は丈夫です。事故は、がけ崩れの実験のために水を多量に流しすぎたためのものです。地盤には問題ありません。

【佐々木委員長】

温かい血の通う施設になってほしいと強く願います。ほかになれば承認ということでよいでしょうか。

【各委員】

<承認>

報告事項 No. 5 川崎市教育の情報化推進計画（案）について

情報・視聴覚センター室長が説明した。

【中本委員】

実際にICTを活用することによって学習の効果は上がっていますか。

【情報・視聴覚センター室長】

文部科学省からは効果があるという報告がありました。先生達に話を聞くと、何かを示す時に、50インチのモニターに映すと全員が注目すると言ったような話を聞きます。

【中本委員】

先生の業務が楽になることなら大いに活用して欲しいと思います。ただ授業に関しては、先生達のアンケートを見ても余り使いこなしていない様に感じます。例えば調べ物は何でもインターネットからの情報になってしまったり、発表も綺麗には出来上がっているが、面白みのないものになってしまっているように感じます。

【中條委員】

使い方の上手な先生もいます。今まででしたら印刷物を黒板に張り出すような方法で見せられなかったものが、デジカメで撮影した写真をそのまま紹介できることによって今までより鮮明に紹介できるようになりました。

【中本委員】

ビジュアル的に見たいものもありますが単一になってしまうのが問題だと思います。インターネットに載っていない情報も大切にして欲しいと思います。情報化というものが全てよいものだというわけではなく故障やセキュリティといった課題もあると思います。

【金井教育長】

アナログとデジタルは今では過渡期です。よくコンピュータなどを道具と言われますが、道具として使っているうちはその先がないように感じます。あと10年20年していくうちに、思いも寄らなかったような使用方法が生まれてくるのかもしれませんが。子どもたちはそうした中で、デジタルよりアナログの方がずっと思いが伝わると言うこともあるかもしれません。以前、情報の専門の方の発表を見ましたが、皆さんがパワーポイントを使う中、その方は手書きの文字のあるスライドを使っていました。とても印象に残るものでした。その方は何も言いませんでしたが、こういう伝え方があるんだという事を示したかったのかもしれませんが。子どもたちもまた、そういうことをどこかで感じ取っていくかもしれません。

【小泉委員】

教員のサポート体制とあります。電話だと5分で済む話がメールだと30分もかかってしまうようなこともあります。こういうものを利用した場合に本当に業務が減るのかどうかそういった事も検証してください。

【中條委員】

グループウェア活用では、情報共有やスケジュール管理などが使い勝手がよく期待できると思います。

セキュリティでは、個人情報の保護の問題があります。個人情報保護指針を下にそれを守らなければ、誓約書を出さなければ取引ができないというようになっています。そういった中で「ファイル共有ソフトのウイニー、シェアなどは使用しないようにしましょう」とありますが、民間では厳禁です。これは処罰の対象でもいいくらいだと思います。実際、現在のところ事故はありませんか。

【金井教育長】

NTTの情報提供としてそういった事はありました。

【中條委員】

こういった事は、民間企業では、社会的信用を失いかねない、危機感を感じているところだと思います。民間との危機管理のずれを感じます。例えば、このセキュリティについての注意が外部の目に触れたとき、一般企業から役所はまだこんなことをしているのかと笑われると思います。

【金井教育長】

文言を、「使用しないようにしましょう」から「使用しない」に変更した方がいいと思います。

【中村委員】

電子黒板は0の学校はありませんか。

【情報・視聴覚センター室長】

スクールニューディールの補助の対象が小・中・特別支援だったため、高校については入っていません。

【中村委員】

そういったものは視聴覚室などで利用されているのでしょうか。

【情報・視聴覚センター室長】

一時的余裕教室に入れて外国語活動などに使用する例が多いです。そこでALTの英語の授業などを行うことが多いようです。

【中村委員】

中本委員のおっしゃったようなことが保護者のアンケートでも心配の声もあります。そういう事も配慮をお願いしたいと思います。

【佐々木委員長】

自分の手や足を使って行うことも教えてほしいと思いますし、コンピュータについては利用する力を身につけると共に学ばなければならないこともあるでしょう。今日出た意見を参考としてください。他になれば承認ということによいでしょうか。

【各委員】

<承認>

7 議事事項

- 議案第43号 川崎市青少年科学館に係る指定管理者の指定の手續等に関する規則の制定について
- 議案第44号 川崎市立日本民家園に係る指定管理者の指定の手續等に関する規則の制定について

庶務課担当課長、文化財課長が説明した。

【佐々木委員長】

何か質問等はございますか。

【中村委員】

学芸業務は直営ですね。広報というのはどういったことですか。

【文化財課長】

印刷、掲示、配布等の業務です。

【中條委員】

特別展示にも関わるのでしょうか。

【文化財課長】

実働部分という事になります。ただ提案というのもありまして自由度があります。

【佐々木委員長】

「アリーノ」の時にも問題になりましたが指定管理者の選定などは大丈夫ですか。

【文化財課長】

基本的に選定の方法は同じですが、直営の部分が残すので運営に問題はないと思います。

【佐々木委員長】

他になれば可決ということでよいでしょうか。

【各委員】

<了承>

【佐々木委員長】

ではそのように決定いたします。

議案第45号 川崎市市民館運営審議会規則等の一部を改正する規則の制定について

庶務課担当課長・生涯学習推進課長・文化財課長が説明した。

【佐々木委員長】

何か質問等がございますか。

【中條委員】

家庭教育の向上に資する活動を行う者というのは具体的にどういう方ですか。

【生涯学習推進課長】

子育て関係のボランティアやNPOの方などを考えております。

【佐々木委員長】

他になれば可決ということでよいでしょうか。

【各委員】

<了承>

【佐々木委員長】

ではそのように決定いたします。

<以下、非公開>

8 報告事項Ⅱ

報告事項 No. 6 教育委員会の権限に属する事項に係る教育長の専決事項の報告について

庶務課担当課長、庶務課長が説明した。

報告事項 No. 6 は承認された。

10 議事事項Ⅱ

議案第46号 人事について

(総務部長、庶務課長以外退室)

庶務課長が説明した。

委員長が会議に諮った結果、議案第46号は原案のとおり可決された。

11 閉会宣言

委員長が閉会を宣言した。